

「家庭ごみ分別と有料指定袋制に関するアンケート調査」へのご協力のお願い

市民の皆さまには、日頃から新潟市の廃棄物行政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

この度、市民の皆さまのご意見をアンケート調査で把握させていただき、家庭ごみ分別と有料指定袋制の今後の運用などに向けた基礎資料として活用させていただきたいと考えています。

このアンケート調査は、新潟市内にお住まいの満20歳以上の方の中から無作為に4,000人の方をお選びし、実施するもので、このたびあなた様をお願いすることになりました。

お伺いした内容はプライバシーに配慮し、コンピューターで統計的に処理しますので、個人のお名前、ご住所などが公表されることは絶対にございませぬ。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、この調査票にご記入のうえ、返信用封筒で 平成26年6月13日(金)まで にご投函いただきますよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

平成26年5月30日

新潟市長 篠田 昭

ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、必ずあて名のご本人がご記入ください。
(無記名ですので、氏名・住所の記入の必要はありません)
2. 特にことわりのない限り、全ての質問にお答えください。
該当者にだけお答えいただく質問もあります。その場合は次の設問への案内が示してありますので、それに従ってお答えください。
3. この調査は、回答者を無作為で抽出しているため、あて名のご本人の様子がわかりませぬ。万一、ご病気などでお答えがいただけない場合は、回答の必要はございませぬ。
4. アンケート調査内容でご不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。

新潟市 環境部 廃棄物政策課 電話025—226—1387(直通)

ご記入が終わりましたら

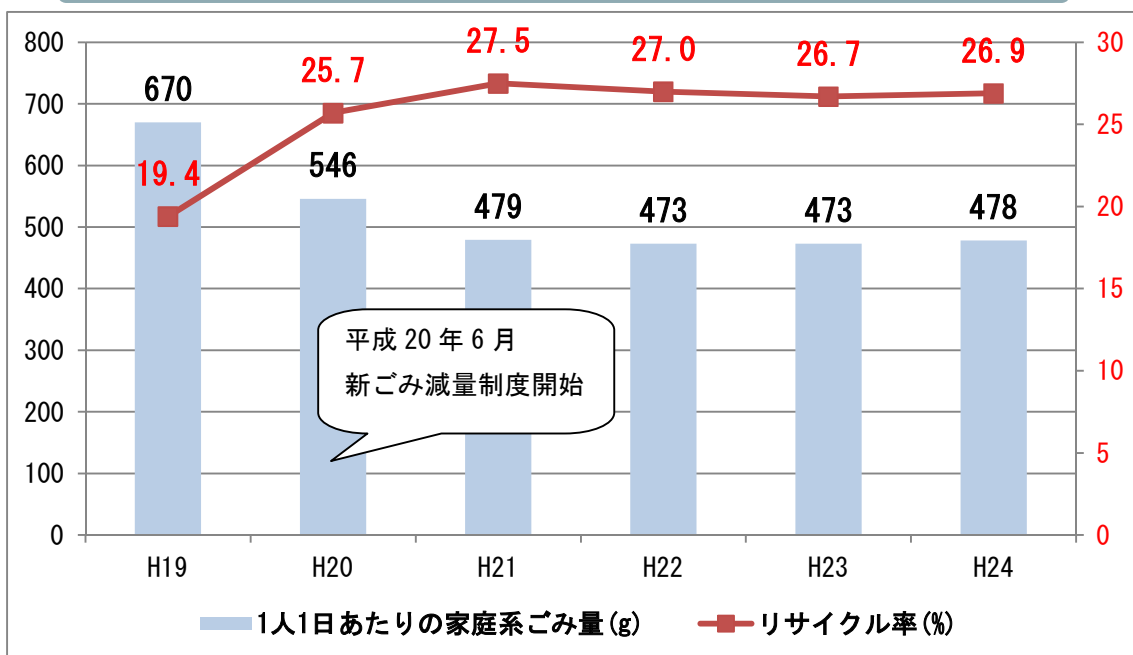
- ◎ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて平成26年6月13日(金)までにご投函ください。切手を貼る必要、お名前を記入する必要はございませぬ。

家庭ごみを取り巻く現状と今後について

◎新ごみ減量制度(平成20年6月)

新潟市は、平成20年6月からの家庭ごみ有料化と10種13分別(巻広域は9種12分別)を柱とする「新ごみ減量制度」の開始により、家庭系ごみは平成19年度比で約3割減少し、リサイクル率も平成24年度で26.9%(人口50万人以上の都市で第2位)となり、大きな成果を挙げています。

1人1日あたりの家庭系ごみ量とリサイクル率の推移



※1人1日あたりの家庭系ごみ量はごみ処理施設へ直接搬入されるごみの量を含んでいません。

全国調査における新潟市のリサイクル率の推移

順位	平成19年度	順位	平成22年度	順位	平成24年度
1	北九州市 29.2%	1	千葉市 30.8%	1	千葉市 31.6%
2	八王子市 27.5%	2	北九州市 29.0%	2	新潟市 26.9%
3	横浜市 26.7%	3	名古屋市 27.9%	3	八王子市 26.9%
:	:	4	八王子市 27.8%	4	北九州市 26.7%
8	新潟市 19.4%	5	新潟市 27.0%	5	名古屋市 26.4%

※人口50万人以上の都市における順位(出展:環境省 一般廃棄物処理事業実態調査)

◎家庭ごみ有料化によるごみ処理手数料の用途

新潟市は、平成20年6月の新ごみ減量制度から、市民の皆さまにご負担いただいた家庭ごみ有料指定袋による収入(※有料化財源)を以下の3つの分野の事業で活用し、市民の皆さまに還元しています。

- ①資源循環型社会促進策(制度の周知・分別意識の向上と啓発、地域環境の美化への支援・取組、ごみ減量・リサイクルの推進)
- ②地球温暖化対策(環境学習・省エネルギーへの支援)
- ③地域コミュニティ活動の振興(地域コミュニティ活動への支援)

※**有料化財源**とは、家庭ごみ有料指定袋制による収入から袋の製造経費などの必要経費を差し引いた額で平成26年度は予算では6億446万円を見込んでいます。

主な市民還元事業

①資源循環型社会促進策

- 古紙資源化の一層の推進

自治会・町内会などの団体が行う集団資源回収に奨励金として6円/kgを、行政収集分については支援金として3円/kgをコミュニティ協議会に交付しています。

集団資源回収は平成24年度で1,768団体が登録し、団体数は毎年度増えています。また、行政収集の支援金はコミュニティ協議会の収入源として、どちらも地域の活動を支える事業となっています。



- 不法投棄・違反ごみ対策

不法投棄防止対策としてパトロールや監視カメラの設置などによる監視体制の強化を行います。平成24年度の不法投棄発見件数は156件で、毎年度減少していることから、対策の効果が現れています。

②地球温暖化対策

- 防犯灯設置補助金

自治会・町内会が設置する防犯灯について、環境にやさしいLED灯の導入促進を支援します。平成25年度は、約1万灯のLED灯申請があり環境にやさしいまちづくりの推進が図られています。

③地域コミュニティ活動の振興

- 地域活動補助金

コミュニティ協議会・自治会などが行う地域課題の解決や資源循環型社会形成を推進する活動などに補助金を交付します。平成24年度は556件の申請があり、毎年度増えていることから地域住民による自主的なまちづくり活動の活性化が図られています。

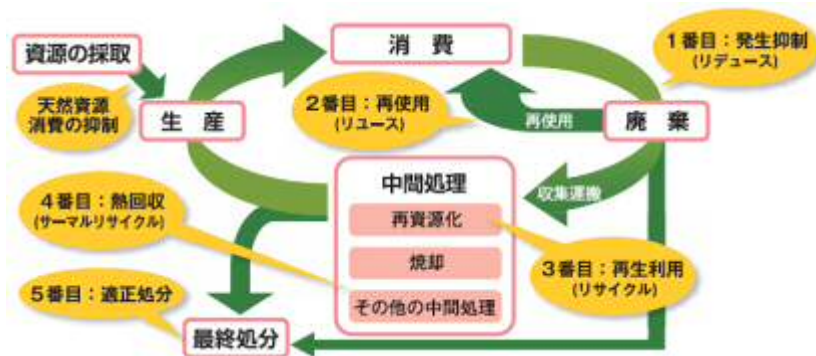
◎そして次のステップへ

平成20年6月にごみ袋の有料化や10種13分別を柱とする「新ごみ減量制度」へと移行した結果、家庭系ごみ量の3割削減、リサイクル率の上昇など大きな成果を挙げることができました。

この次のステップとして、平成24年4月から施行されている「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」では、循環型社会と低炭素社会・自然共生社会を統合的に構築し、新潟市が持続的に発展するため、市民・事業者・市が一体となって「環境先進都市」の実現に向けた取り組みを加速させていくことを基本理念としています。

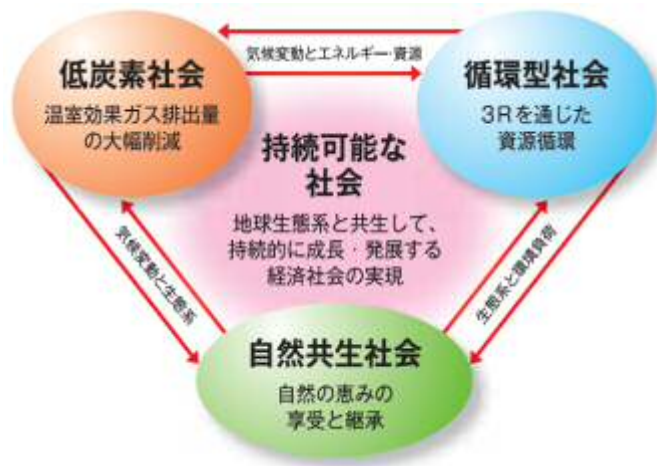
①本市の目指す循環型社会

3Rの考え方に基づき、「①発生抑制(リデュース)」、「②再使用(リユース)」、「③再生利用(リサイクル)」の優先順位で、天然資源の消費を抑制し、可能な限り循環的に利用する社会です。



②循環型社会と低炭素社会及び自然共生社会との関係

本市が目指す循環型社会を実現するためには、低炭素社会と自然共生社会を統合的に構築していくことが必要です。



調 査 票

【1 あなたご自身のことについてお聞きします。】

問1 あなたの性別は。(○は1つだけ)

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

問2 あなたの年齢は。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 20～29歳 | 4. 50～59歳 |
| 2. 30～39歳 | 5. 60～69歳 |
| 3. 40～49歳 | 6. 70歳以上 |

問3 あなたのご職業は何ですか。(○は1つだけ)

※複数の職業をお持ちの方は、おもなものを一つだけお選びください。

- | |
|----------------------------------|
| 1. 自営業(家族従業員も含む) |
| 2. 勤め人(会社員, 公務員, パート・アルバイト・内職含む) |
| 3. 家事専業(主婦・主夫) |
| 4. 学生 |
| 5. その他() |

問3ーア ご職業が「勤め人」の方にお聞きします。

あなたの勤務形態は次のうちどれですか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 正規の職員・従業員 | 3. 派遣社員 |
| 2. パート・アルバイト | 4. その他() |

問4 あなたのお住まいは何区ですか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|-------|--------|--------|--------|
| 1. 北区 | 3. 中央区 | 5. 秋葉区 | 7. 西区 |
| 2. 東区 | 4. 江南区 | 6. 南区 | 8. 西蒲区 |

問5 あなたの世帯の家族構成は、次のうちどれにあたりますか。

(○は1つだけ)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 単身 | 4. 3世代世帯(親と子と孫) |
| 2. 夫婦のみ | 5. その他 |
| 3. 2世代世帯(親と子) | () |

【2 家庭ごみの分別区分及び有料指定袋制についてお聞きします。】

問6 新潟市では、平成20年6月から10種13分別(巻広域は9種12分別)により可能な限り資源化を図り、最終的に焼却・埋立処分されるごみを極力削減するとともに、分別の徹底により、高品質なリサイクルを確保することとしています。

現行の分別区分についてどう思われますか。(○は1つだけ)

- | |
|----------------------|
| 1. 大変である |
| 2. 大変であるが環境のためなら仕方ない |
| 3. 適当である |
| 4. もっと細かく分けるべきである |
| 5. わからない |

問7 新潟市では、平成20年6月から10種13分別(巻広域は9種12分別)と併せて有料指定袋制が導入されました。この有料指定袋制が導入されてから、ごみの出し方やごみの減量・リサイクルに関する取り組み方が変わりましたか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 集団資源回収、古紙拠点回収、店頭回収(牛乳パック、白色トレイ、ペットボトル等)を活用するようになった |
| 2. 資源ごみ収集(プラマーク容器包装、ペットボトル、古紙など)に分別して積極的に出すようになった |
| 3. 包装の少ない商品や長持ちする商品を買うなど、買い物時の考え方が変わった |
| 4. 生ごみリサイクル(コンポスト、電動生ごみ処理機等)に取り組むようになった |
| 5. 中古品を扱うリユースショップを活用するようになった |
| 6. マイバックやマイボトルを利用しごみをできるだけ出さないライフスタイルになった |
| 7. あまり変わっていない |
| 8. その他() |

問8 有料指定袋の価格についてお伺いします。

平成20年6月からの指定ごみ袋の有料化と10種13分別を柱とする「新ごみ減量制度」開始後、皆さまのご協力により、家庭ごみが約3割減少し、現在も減量効果が維持されています。新潟市の指定ごみ袋の価格は、他都市の水準なども踏まえて1ℓ1円と設定しています(中袋(30ℓ)1枚30円)。

有料指定袋制を実施している政令市の平均は中袋(30ℓ)1枚31円です。

こうした状況を踏まえ、現在の価格について、皆さまはどのようにお考えになりますか。

(○は1つだけ)

1. さらなるごみの減量・リサイクルにつながるよう、価格を上げるべき
2. ごみの減量・リサイクルにつながっているので、このままで良い
3. ごみの減量・リサイクルは重要であるが、価格は下げるべきである
4. わからない

問9 新潟市でも生ごみが燃やすごみの約40%を占めるなか、各都市で生ごみを活用した資源化の動きが広がっています。長岡市では分別収集した生ごみでバイオガス発電を行っています。今後、燃やすごみを生ごみとその他の燃やすごみに分けて収集し、エネルギー資源等に有効活用することについて、どのように思いますか。

※バイオガス発電は、生ごみを微生物の働きで発酵・分解しバイオガスを発生させ、これを利用して発電するものです。

(○は1つだけ)

1. 実施すべきである
2. どちらかといえば実施すべきである
3. どちらかといえば実施すべきでない
4. 実施すべきでない
5. わからない

問10 新潟市では、家庭ごみの有料指定袋制による収入(有料化財源)を①資源循環型社会促進策(制度の周知・分別意識の向上と啓発、地域環境の美化への支援・取組、ごみ減量・リサイクルの推進) ②地球温暖化対策(環境学習・省エネルギーへの支援) ③地域コミュニティ活動の振興(地域コミュニティ活動への支援) の3つの分野の事業に市民還元していますが、このことをあなたは知っていますか。

(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 知らない

問11 有料化財源による市民還元事業の一部を示しています。質問項目の(1)~(3)について、あてはまる方に○を入れてください。

分野	事業	質問項目		
		(1)事業の内容を知っていましたか	(2)事業に有料化財源を活用していることを知っていましたか	(3)事業を活用したことがありますか。
①資源循環型社会促進策	使用済み小型家電を市内41箇所の拠点で回収	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
	古布・古着を市内8箇所の拠点で回収	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
	生ごみ堆肥化容器, 家庭用電動生ごみ処理機購入に対する助成	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
②地球温暖化対策	廃天ぷら油の回収を実施する自治会などに対して回収実績に応じた支援金を交付	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
③地域コミュニティ活動の振興	高齢者や障がい者などのごみ出しが困難な世帯に対して, 有償ボランティア等によるごみ出し支援を行う自治会などの団体に支援金を交付	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ

問11-ア 問11(1)で事業の内容を1つでも知っている人と答えた人にお聞きします。あなたは、事業の内容についての情報を何から入手しましたか。(○はいくつでも)

1. 市報にいがた・サイチヨプレス	5. 市のホームページ
2. 区役所だより	6. 自治会・町内会の会合
3. テレビ・ラジオ・新聞	7. 回覧板
4. バスの広告	8. その他(具体的に: _____)

問 11-イ 問 11(2)で有料化財源を活用していることを1つでも知っている人と答えた人にお聞きします。あなたは、有料化財源を活用しているという情報を何から入手しましたか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 市報にいがた・サイチョプレス | 5. 市のホームページ |
| 2. 区役所だより | 6. 自治会・町内会の会合 |
| 3. テレビ・ラジオ・新聞 | 7. 回覧板 |
| 4. バスの広告 | 8. その他（具体的に： _____） |

問 12 今後、新潟市が実施する様々な事業を市民の皆さまに活用していただくためには、まず事業の内容について知っていただくことが重要と考えます。どのような方法であればそうした事業の情報を得やすいと思われますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 市報にいがた・サイチョプレス | 5. 市のホームページ |
| 2. 区役所だより | 6. 自治会・町内会の会合 |
| 3. テレビ・ラジオ・新聞 | 7. 回覧板 |
| 4. バスの広告 | 8. その他（具体的に： _____） |

問 13 下記の一覧は、有料化財源を活用した市民還元事業です。今後、有料化財源を活用して実施すべきと思われますか。それぞれの事業ごとに番号を1つ選んで、その番号に〇をつけてください。(〇はそれぞれ1つずつ)

【一覧】

分 野	事 業	1 実 施 す べ き	2 ど 実 施 ら す か べ と き い え ば	3 ど 実 施 ら す か べ と き い で え な ば い	4 実 施 す べ き で な い	5 わ か ら な い
	(1)分別意識の向上と啓発 ・ごみに関する広報紙(サイチョプレス)などの作成、配布 ・マイボトルキャンペーンなど、市民に対する3R意識の啓発事業の実施など ※3Rはリデュース:発生抑制, リユース:再使用, リサイクル:再生利用 の英語の頭文字をとった言葉です。	1	2	3	4	5

① 資源循環型社会促進策	(2)クリーンにいがた推進員育成事業 ・クリーンにいがた推進員への研修会, 施設見学会の実施など ※クリーンにいがた推進員は, 地域における廃棄物の適正な分別・排出などで中心的な役割を担う方です。	1	2	3	4	5
	(3)ごみ集積場設置等補助金 ・自治会などへのごみ集積場の購入, 修繕に対する助成	1	2	3	4	5
	(3)ごみ集積場設置等補助金 ・カラス被害対策として自治会などへ特殊ネットを譲与	1	2	3	4	5
	(4)地域清掃等への助成 ・自治会などが行う地域清掃などの環境美化活動への助成など	1	2	3	4	5
	(5)不法投棄・違反ごみ対策 ・パトロールや監視カメラ等の設置などによる監視体制の強化	1	2	3	4	5
	(6)古紙資源化の一層の推進 ・集団資源回収団体などへ回収実績に応じた奨励金(6円/kg)を交付	1	2	3	4	5
	(6)古紙資源化の一層の推進 ・コミュニティ協議会へ行政収集(ごみ集積場)実績に応じた支援金(3円/kg)を交付	1	2	3	4	5
	(7)家庭系生ごみ減量化の推進 ・生ごみ堆肥化容器, 家庭用電動生ごみ処理機購入に対する助成など	1	2	3	4	5
(8)古布・古着の拠点回収 ・燃やすごみの減量化及びリサイクル意識の向上を図るため市内8箇所の拠点で回収	1	2	3	4	5	
② 地球温暖化対策	(9)環境教育・環境学習に対する支援 ・環境教育副読本の作成, 配布(小学4年生用, 中学1年生用) ・市立学校などで実践校, 推進校を選定し環境教育を実施など	1	2	3	4	5
	(10)廃天ぷら油の拠点回収 ・家庭から排出される廃天ぷら油を自治会などの拠点で回収し再生利用	1	2	3	4	5
	(11)防犯灯設置補助金 ・自治会などが設置する防犯灯について, 環境にやさしいLED灯の導入促進を支援	1	2	3	4	5
③ 地域活動	(12)ごみ出し支援 ・高齢者や障がい者などのごみ出しが困難な世帯に対して, 有償ボランティア等によるごみ出し支援を行う自治会などの団体に支援金を交付	1	2	3	4	5

ミの ユ振 ニ興 テ	(13)地域活動への支援 ・コミュニティ協議会・自治会などが行う地域課題の解決や資源 循環型社会形成を推進する活動などに補助金を交付	1	2	3	4	5
---------------------	--	---	---	---	---	---

問13-ア 問12の一覧に記載している事業のほかに、①資源循環型社会促進策(制度の周知・分別意識の向上と啓発, 地域環境の美化への支援・取組, ごみ減量・リサイクルの推進) ②地球温暖化対策(環境学習・省エネルギーへの支援) ③地域コミュニティ活動の振興(地域コミュニティ活動への支援) の3つの分野に該当し, 有料化財源を活用して実施すべきとお考えになる事業があれば, 具体的にご記入ください。

問14 新潟市は, 平成20年6月の「新ごみ減量制度」の開始から, 枝葉・草を新たな資源として活用を図るため分別収集を行っています。収集したごみや資源を新たな資源やエネルギーとして利活用するための処理経費や施設の運営管理経費に有料化財源を活用することについて, どのように思われますか。(○は1つだけ)

1. 活用すべき	5. わからない
2. 一部であれば活用すべき	6. その他
3. 活用すべきではない	(具体的に: _____)
4. どちらでもよい	

問15 現在、新潟市では、有料化財源を活用して市民還元事業を行っています。今後、中期的な展望に立った施策を行うための積立てや有料化財源の活用状況を市民の皆さまに、わかりやすくすることを目的として基金を創り、その財源を活用して事業を行うことについて、どのように思われますか。

※基金は、特定の目的のために財産を維持し、資金を積立て、又は定額の資金を運用するために設けられる資金又は財産です。

(○は1つだけ)

1. 有料化財源で基金を創り、その財源を活用して事業を行うべき
2. 有料化財源で基金を創らなくとも、現在のままでよい
3. どちらでもよい
4. わからない
5. その他(具体的に: _____)

問15ーア 問15で1.と答えた人にお聞きします。あなたは、どのような事業を行うべきと考えますか。(○はいくつでも)

1. 新ごみ減量制度(10種13分別等)のさらなる周知と分別意識の向上と啓発の取り組み
2. 地域環境の美化への支援, 取組み
3. ごみ減量・リサイクルに関する支援, 取組み
4. 環境学習・省エネルギーへの支援(地球温暖化対策)
5. 地域コミュニティ活動への支援
6. 積立ててごみ減量・リサイクルに関する施設の整備費
7. その他 (具体的に: _____)

問16 新潟市のごみ処理, リサイクルに関してご意見がありましたらご記入ください・

ご協力ありがとうございました。同封の封筒に入れて、ご返送ください。